



「進路」って何だろう？

校長 千秋 久宣

学校には特別な日があります。それは第1回高等学校説明会の日、今年は10月29日でした。高校説明会といえば、高等学校から先生方が見えられ、3年生や保護者の方に自分の学校の特色や受験の要領等を説明される会です。なぜ、中学校にとって特別な日なのか。それは、生徒も教師も高校受験に向けての意識を高め、「いよいよ受験シーズンが始まるぞ。今まで以上に気を引き締めて行こう」という決意の日ととらえているからです。

さて、中学校3年生になると目の前に高校受験がちらついてきます。いわゆる「高校進学」を考えるわけですが、実は「高校進学＝進路」ではないのです。では、「進路って何ですか？」と聞かれたら何と答えるでしょうか。やはり「高校へ進学すること」と答える人が多いかもしれませんが、それはせまい意味の「進路」なのです。

「進路」には次のような3つの意味があると考えています。

- 1 進学先や就職先の選択・・・卒業後はどんな道を進むのか、進んでいく道のりを意味する。
- 2 職業の選択・・・将来、何になるか、進んでいく方向やめざす職業を意味する。
- 3 生き方や価値観の選択・・・将来に向かってどのような生き方をしていくのか、自分にとって何が大切なのかを考え、生き方を選んでいくことを意味する。

「中学校卒業後どうするか」を考えるだけでなく、将来の職業や自分の生き方まで考えながら進路を考えることがベストだと思うのです。もし、そこまで考えるのが無理だとしても、せめて将来への見通しをもって卒業後の進路を選択する必要があると思います。とすれば、自分の「進路」について考える必要があるのは、3年生だけではないのです。

3年生はもちろん、2年生も1年生も「進路選択」をしていくためには必要なことがあります。

- 1 将来への目標を持つこと
・・・将来の夢、つきたい職業、生き方等をしっかりと考えることです。
- 2 自分をよく知ること
・・・自分の特徴や能力、長所や短所、得意や不得意などを自分で考える。また、親、家族、先生、友人などからの意見から知ることです。
- 3 上級学校や職業についてよく知ること
・・・進路学習や職場体験学習、新聞等などを通して、情報をしっかりと集めることです。高校説明会も情報を得る一つの機会です。

生徒のみなさんには、進路に関わる学習を通して、さらには自分の特性や適性を考えながら、「進路選択」、「就職」への道を歩んでほしいと思います。もちろん、今すぐに将来の仕事を見つけなければならないというわけではありません。しかし、将来を見すえた「進路選択」であってほしいと思っています。

3年生、いよいよゴーサインです。進路選択・進路決定に向けてしっかりと取り組んでいきましょう。1, 2年生、来年、再来年のためにこれから進路決定に向かう3年生の動きをよく見ておきましょう。

